

事務事業名		特定環境保全公共下水道施設整備事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	整備維持グループ	課長名	内田俊行
	施策名	(16)下水道の整備		担当者名	新田利治	電話番号	0854-42-3471
	目的:対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。		(内線)	4610
	基本事業名	(044)下水道施設の整備		予算科目	会計 2 5 2 5 1 1 0	大東地区特環施設整備事業 加茂地区特環施設整備事業	中事業名
目的:対象	下水道未整備区域の市民		意図	下水道に排水できるように整備する。			

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	( 16 年度～ 32 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
(大東処理区)	
計画処理区域面積	104ha
計画区域内人口	2,900人
終末処理場	1箇所
計画処理能力	1,700m <sup>3</sup> /日(2池)
(加茂処理区)	
計画処理区域面積	101ha
計画区域内人口	2,300人
終末処理場	1箇所
計画処理能力	1,290m <sup>3</sup> /日(2池)

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)				
	・大東地区 機械設備更新工事 1式	・大東地区 機械設備更新工事 1式				
	・加茂地区 管路基本詳細設計業務委託 1式 機械設備更新工事 1式	・加茂地区 管路詳細設計業務委託 1式 管路施設整備工事 1式				
② 活動指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	管渠工	m	234	0	0	200
イ	処理施設工	箇所	1	2	2	2
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	大東町及び加茂町特環公共下水道地域内の住民、事業所等							
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	対象施設すべての宅内排水を下水道へ接続し、汚水処理を行えるようにする。							
ア	処理(整備)人口	人	5,361	5,285	5,216	5,158		
イ	管渠工	m	234	0	0	200		
ウ	処理施設工	箇所	1	2	2	2		
ア	接続率	%	80.3%	81.1%	81.7%	82.0%		
イ	管渠工	m	234	0	0	200		
ウ	処理施設工	箇所	1	2	2	2		

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
委託料	7,085千円	財源内訳	国庫支出金	千円	10,200	7,300	7,300	17,500
工事請負費	14,813千円		県支出金	千円				
計	21,898千円		地方債	千円	17,000	13,000	10,000	15,900
(大東町地区)	15,958千円		その他	千円	3,518	1,421	4,598	2,000
(加茂町地区)	5,940千円		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	30,718	21,721	21,898	35,400	
		正規職員従事人数	人	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	700	700	700		
		人件費計(B)	千円	2,777	2,854	3,032		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	33,495	24,575	24,930		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・面整備は概ね完了したが、施設の老朽化対策として、ストックマネジメント計画等に基づき施設改修を行う必要がある。	・平成29年度に策定した雲南市汚水処理施設整備構想に基づき隣接する農業集落排水等との連携・統合を図る。	・議会からは、下水道経営の安定化に向けた対策についての意見がある。

事務事業名	特定環境保全公共下水道施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	-------------------	-----	-------	-----	------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合		
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合			
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	未接続者に対し早期の接続を促し接続率の向上を図る。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	今後は、施設の改築や更新が今以上に必要となるため廃止や休止はできない。		
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合	(具体的な手段や類似事業名)	雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業 農業集落排水事業等(処理施設)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由	雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業により、大東・加茂浄化センターの脱水設備等の更新が不要となる。 汚水処理施設整備構想による農業集落排水施設等の統合に取り組む。	
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業により、今後大東・加茂浄化センターの脱水設備等の更新が不要となることから、事業費の削減余地がある。 汚水処理施設整備構想による農業集落排水施設等の統合に取り組むことで、事業費の削減余地がある。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	必要最低限の人員及び業務時間で業務を行っているため、人件費の削減余地はない。		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？				
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	下水道使用料を賦課しているため公平である。		
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)		
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・下水道長寿命化計画や汚水処理施設整備構想に基づき事業を実施しており、現段階では適正な事業進捗と考える。		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり				
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり				
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり				

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																			
	削減	維持	増加																		
向上	●																				
維持			×																		
低下		×	×																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場については、長寿命化計画により事後保全から予防保全へシフトし、ライフサイクルコストの削減を図る必要がある。</li> <li>・雲南市汚水処理施設整備構想に基づき、既整備地区の効率的な改築・更新や運営管理手法(施設の有効活用、施設の統合等)を計画的に実施していく。</li> <li>・管路についても点検を実施し、効率的に修繕、更新をしていく必要がある。</li> <li>・未接続者に対し早期の接続を促し接続率の向上を図る。</li> <li>・大東地区においては、将来浄化槽を下水道へ接続する予定としている。</li> </ul>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																				